森研第６０号

令和６年６月１３日

関係所属長　様

関係機関・団体の長　様

関係各位

岐阜県森林研究所長

令和６年度岐阜県森林研究所「研究成果発表会」の開催について

平素は、当所の試験研究業務の推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、当所の研究成果発表会を下記のとおり開催いたしますので、多くの皆様にご参加いただきたくご案内申し上げます。

記

１．開催日時および場所

日時：**令和６年７月１２日（金）**１３：１５～１６：１５（１２：４５より受付）

場所：**わかくさ・プラザ　多目的ホール（関市若草通2丁目1番地）**

　　　　　　　※車でお越しの方は、できる限り乗り合わせでお願いします。

２．プログラム（発表の内容は別紙のとおり）　　**※ 時間は前後する場合があります**

13:15～13:20　開会・あいさつ

13:20～13:50　発表１ 災害に強い路網整備を支援する地図の開発

主任専門研究員　臼田 寿生

13:50～14:15　発表２　広葉樹の侵入のしやすさを示す取組み

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 専門研究員　久田 善純

14:15～14:40　発表３　ヒノキ再造林地で部分的に下刈りを省略したら

針広混交林になりました

研究員　宇敷 京介

14:40～15:00　休憩

15:00～15:25　発表４　国産黒トリュフの人工栽培を目指した技術開発

主任専門研究員　水谷 和人

15:25～16:15　長野県林業総合センターと岐阜県森林研究所の研究成果の紹介

（ポスター発表）

16:15　　　 　閉会

３．定員：１５０人程度（参加無料）

４．申込み方法

　　次の事項を下記あてにメールまたはＦＡＸにて送付してください。

○ **氏名**

○ **所属**　（ある場合）

○ **連絡先**（電話番号、メールアドレス）

　　　　・別紙２に申込用紙を示します。ただし､上記の内容を明記していただければ様式は問いません。

　　　　・申込時に収集した個人情報は、当発表会の運営目的の範囲内で利用いたします。当該目的以外で利用することはありません。

送付先　森林研究所　メールアドレス：info@forest.rd.pref.gifu.jp

ＦＡＸ：０５７５－３３－２５８４

　　　申込み期限： 令和６年7月５日（金）

５.問い合わせ先

　　　・岐阜県森林研究所（〒501-3714　美濃市曽代1128-1）　　担当：和多田・渡邉

 　・電話：０５７５－３３－２５８５　　ＦＡＸ：０５７５－３３－２５８４

　　電子メール： info@forest.rd.pref.gifu.jp

**【発表内容】**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　別紙１

**〇口頭発表**

発表１　災害に強い路網整備を支援する地図の開発

　 　　　 森林資源部　主任専門研究員　臼田 寿生

森林の管理と利活用を効率的に行うためには、路網整備が不可欠です。しかし、近年は、気候変動の影響による大雨が増加傾向にあり、森林内の路網における災害発生リスクが高まっているため、気候変動に適応した災害に強い路網整備を推進していく必要があります。そこで、災害に強い路網整備の支援を目的として、路網整備の難易度と土石流災害の危険性がわかりやすい地図を開発しました。

キーワード：路網整備、山地災害、地形、土石流、地図

発表２　広葉樹の侵入のしやすさを示す取組み

森林環境部　専門研究員　久田 善純

針広混交林への誘導など、広葉樹の自然侵入を活かした森林整備を計画する場合、種子供給源となる広葉樹林分が近辺に存在するか事前に確認することが重要です。現在、森林空中写真の画像解析により、広葉樹林の林縁からの距離区分を図示することに取り組んでいますので、試作状況について紹介します。

キーワード：針広混交林、広葉樹、種子供給源、森林空中写真、距離区分図

発表３　ヒノキ再造林地で部分的に下刈りを省略したら針広混交林になりました

森林環境部　研究員　宇敷 京介

針広混交林の誘導技術が求められています。ヒノキと高木性広葉樹が林冠で混交する再造林地の林分構造を調査した結果、ミズメやウダイカンバが集団で帯状に生育している場所は、枝条の集積に伴い、除地になっていたことが分かりました。この事例から、再造林地の下刈りを部分的に省略することにより、針広混交林を誘導できる可能性があります。

キーワード：高木性種、広葉樹、下刈り、除地、針広混交林

発表４　国産黒トリュフの人工栽培を目指した技術開発

森林資源部　主任専門研究員　水谷 和人

高級食材のトリュフは、生きた樹木の根に共生する菌根菌で、マツタケと同様に人工栽培が非常に難しいキノコです。今回、国内に発生する国産の黒トリュフの菌を接種したコナラ苗木を植栽し、7年が経過した令和５年秋に、国内で初めて人工的に国産黒トリュフを発生させることに成功しましたので、その秘訣を紹介します。

キーワード：高級食材、黒トリュフ、菌根菌、人工栽培、成功

**〇ポスター発表**

ヒノキ再造林地の下刈りを省略したら針広混交林になりますか？

　　　　　　主任専門研究員　渡邉 仁志

根鉢を小型化した1年生ヒノキ山行苗の開発

主任研究員　茂木 靖和

ツリーシェルターの構造が苗木の成長に与える影響の違い

主任研究員　片桐 奈々

ツリーシェルターの撤去時期と注意点

主任専門研究員　大橋 章博

バックホウのバケット部による路体締固め時の最適な締固め回数は？

 専門研究員　和多田 友宏

シイタケ発生への気温上昇の影響を理解して栽培管理に役立てる

専門研究員　上辻 久敏

ヒノキ心去り正角を使用した接着重ね材の曲げ強度性能

主任研究員　田中 健斗

長野県林業総合センターポスター発表（２題程度）

別紙２

**岐阜県森林研究所「研究成果発表会」　令和６年７月１２日（金）開催**

**参 加 申 込 書**

　ご所属　：

（連絡窓口となる方のお名前）：

　電話番号　：　　　 　　 FAX番号：

メールアドレス　：

|  |
| --- |
| 参 加 者 の お 名 前 |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

・電子メール、またはＦＡＸでお申し込みください。

・必要事項が記入してあれば、この様式によらなくても結構です。

・申込時に収集した個人情報は、当発表会の運営目的の範囲内で利用いたします。当該目

的以外で利用することはありません。

送付先　岐阜県森林研究所

メールアドレス：info@forest.rd.pref.gifu.jp

ＦＡＸ：０５７５-３３-２５８４

　　　　申込み期限： 令和６年７月５日（金）